

平成23年度
実施事業

事務事業名 鷺別30号線改良事業

区分	No	名称					
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち					
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる					
施策	1	総合的な交通網の整備					
小分類	1	道路網の整備・適正な維持管理					
主要な施策	2	地域幹線道路網の整備					
事務事業番号	007	事業開始年度	平成 20 年度	事業終了年度	平成 25 年度	会計種別	一般会計

部 名	都市整備部	グループ名	土木グループ
-----	-------	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	道路(車道、歩道)整備により、通行者の安全を確保する。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	全体整備計画 道路延長 581m、車道幅 7.0m、歩道幅 2.5m 平成23年度 移転補償 一式 道路改良・舗装工 92m
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	目的を達成するため、引き続き事業を進めていく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	道路法

事業費(財源内訳)の推移

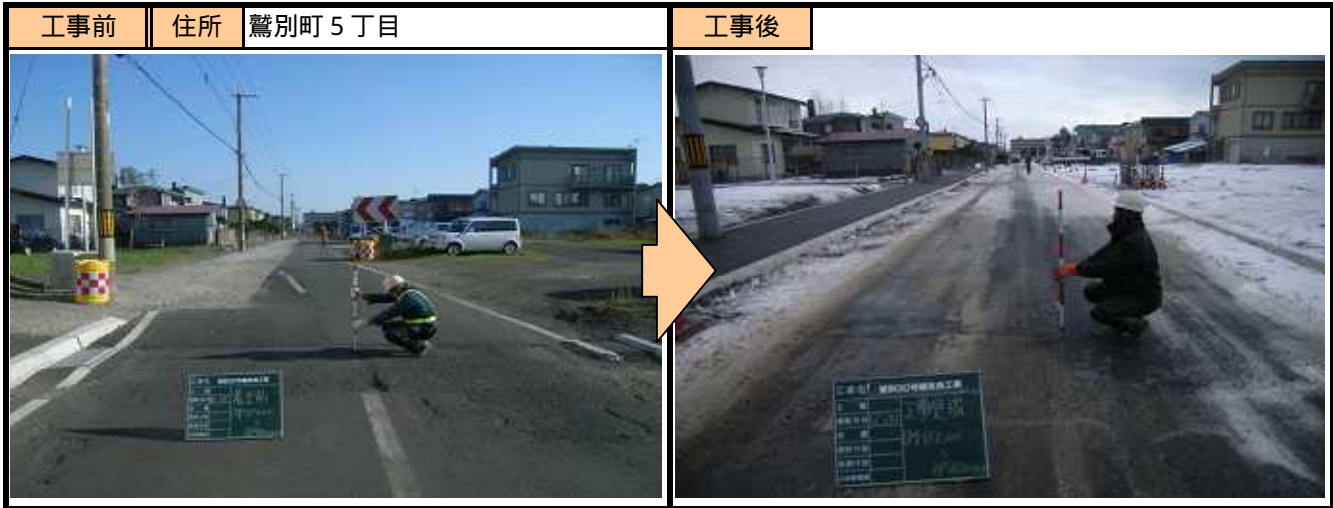
《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円	16,702	17,226	13,800	16,800	
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円	12,800	13,000	9,500	13,500	
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	396	313	1,100	1,600	
事業費合計			29,898	30,539	24,400	31,900	0

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	整備延長	m	目標値	120	128	76	100	
			実績値	122	92			
				目標値				
				実績値				



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 市の歩道整備に関する事、民間に類似した事務事業がないことから、市が事業主体として実施することが妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 車の通行量が多く、通行者が危険な状況であり、また、この路線は通学路となっていることから、歩道を新設し、併せて車道も改良するものである。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 当該事業は本工事が主であり、工事の工種にコスト削減の要素がない。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 計画どおり事業が進んでおり、引き続き、道路(車道、歩道)の整備工事を実施していく。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	本事業は道路(車道、歩道)の整備事業であり、事業区間の全部を完成して本来の効果を発揮するものである。
-----------	----------------------	--

行政評価会議による評価

維持	備考	
-----------	----	--